船橋サンガの広場 創刊号

もっと★あなたとつながりたい！

題字＝平塚教会長

立正佼成会船橋教会　2022 年 5 月発行

「船橋サンガの広場」の創刊号に寄せて

新型コロナウイルスの影響で皆さまとお会いできない日が続いていますが、お変わりなくお過ごしでしょうか？長引くコロナ禍もロシアのウクライナ侵攻も願っていないことが眼前に起こっています。そのような時こそ苦しみのなかにある人々に寄り添い、朝夕のご供養を通し、平和を願いつづけさせて頂いております。会長先生は、困難な状態の中でも幸せを見出していくことの大切さをご指導くださっています。皆さまがコロナ禍において、身の置かれている場で、慈しみと思いやりの心をもって菩薩行に励まれ、サンガのつながりやご家族の絆が深められたことで真の幸せ、喜びを味あわせて頂いたことと思います。

この度、皆さまが教えを実践され、救い救われる喜びを共にわかち合える場として「船橋サンガの広場」の発行のお手配を頂きました。編集長の第7支部小田壮年さんを中心に、支部代表の委員さん方のご尽力に心より感謝申し上げます。
仏さまの教えを頂き、“生き生きした人生”を歩ませて頂いている功徳を共有し、更にサンガの皆さまと心のつながりを深めさせて頂き、地域の隅々までご法の輪を拡げられることを願っております。　　合掌

教会長　平塚 桂子

陽だまりコーナー

祈り

ロシアがウクライナに侵略、戦争が始まりテレビから流れる映像を観るにつけ、心が痛むばかりでした。そんな時、ウクライナ情勢平和祈願の式文をもらい、信仰者として祈りこそ今できる事と思い、朝夕祈願しております。以前から夜中に足がつり、薬を飲んでも治らず悩んでいました。
毎日真剣にお経をあげ祈る中、気づけば足がつらなくなり元気になっていました。一日も早く平和が戻ること、引き続き祈願させて頂きます。　　第二支部　金子 和子

満百歳！

皆川治久さんは今年で満百歳。何よりご法を大事に人さまへの思いやり行に徹しています。昨年いつものように自転車を押して道路のゴミ拾い中に転倒、右半身

に大けがをしましたが大事に至らずご守護を実感しました。その後ゴミ拾いをやめたと聞いていましたが、今年2月突然教会に見えたとの連絡にビックリ!!後で聞けば、できるかどうか試したかったとのこと。一人でバスを乗り継ぎ教会へお参り下さる信仰姿勢に頭が下がりました。
皆川さん、ずっと元気でいて下さいね!!

鎌ヶ谷西支部　関本 昌代

♪♪♪ おさんぽ ♪♪♪

散歩がてら買い物へ行く歩道沿いに老人施設があります。いつもカーテンが閉まっているので中はみえませんが、その日は半分開いていて、車椅子の年輩の女性が手を振り、お辞儀をしてくれました。私も思わず同じように手を振りお辞儀を・・・ほっこり。

鎌ヶ谷東支部　玉之内 希予

編集メンバー

編集長

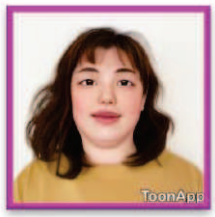
第七支部
小田 雅一

第四支部
小松 君衣

第五支部
鈴木 啓悦

第八支部
鈴木 紀子

習志野第一支部
市瀬 恭代


習志野第二支部
吉橋 身依

習志野第二支部
土井谷 浩子
（支部長）

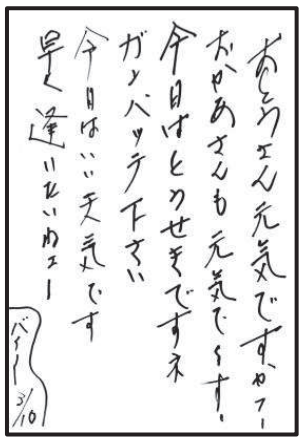
八千代第一支部
小澤 優恵
（支部長）

八千代第二支部
伊藤 幸世

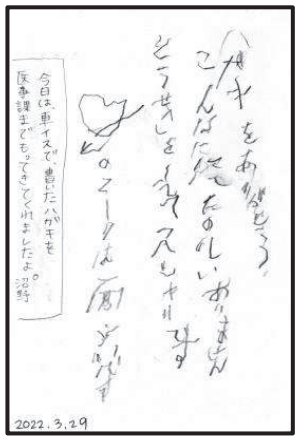
❤❤ ラブレター ❤❤

夫が入退院を繰り返して五年が経ちました。コロナ禍で面会ができず、お互いに淋しい思いをしていました。そんなある日、夫から「葉書がほしい」と連絡があり、それから私たちの文通が始まりました。
夫は「思うように字が書けない」と言いながらも一生懸命書いてくれ、私も毎日返事を送っています。会えない日が続きますが、葉書で心を繋ぐことができ、今日もポストを見に行くのが楽しみです。

第一支部　森田 清子



妻から夫へ



夫から妻へ

編 集 後 記

新型コロナ禍も３年目に入り、今はコロナと共存して暮らす生活が定着しつつありますが、従来通りに教会にお参りできる状況ではありません。そこで教会のホームページやご命日の web 配信などをご覧になれないサンガの皆さんにも、ほっと出来る話題をお届けしたいとの願いを込めて作成し、読みやすく大きめの文字でお届けします。

多士済々の編集委員の皆さんが張り巡らせた情報のアンテナでキャッチした「心温まる話」をまとめました。

これからは皆さんのお話を聞かせてください。よろしくお願いします。（雅）